

・サウジアラビアで MERS コロナウイルスの流行が拡大

サウジアラビアでは6月も MERS コロナウイルスの流行が拡大しています。昨年以來、6月23日までに55人の患者が発生し、うち33人が死亡しました(WHO Global Alert and Response 2013-6-23)。4月~5月にかけては東部のアフサ地区の病院で23人の集団感染が発生しましたが、この模様は New England Journal of Medicine 誌(電子版 2013-6-19)に詳しく記載されています。6月には首都の Riyadh やメッカ近郊など西部でも患者が発生している模様です。中東ではサウジアラビア以外にヨルダン、UAE、カタールで患者が発生しており、また、英国、フランス、ドイツ、イタリア、チュニジアでも中東からの帰国者を中心に患者が確認されています。6月23日までの全世界の患者数は70人で39人が死亡しました。今後、7月のラマダンや10月の大巡礼の際には数多くの外国人がサウジアラビアを訪問するため、流行はさらに拡大することが懸念されています。

サウジアラビアなどの流行国に滞在する場合は、動物や呼吸器症状のある患者との接触を避けるとともに、手洗いの励行や飲食物を加熱して食べるなどの注意を心がけてください。また、滞在中や帰国後(2週以内)に発熱や呼吸器症状がみられた場合は、早目に医療機関を受診するようにしましょう。

・鳥インフルエンザの流行状況

中国の上海などで今年の2月から流行していた鳥インフルエンザ H7N9 については、6月以降の新たな患者報告はありません(外務省海外安全ホームページ 2013-6-12)。流行の鎮静化は生きた家禽のいる市場を閉鎖した効果と考えられていますが、今後も監視を続ける必要があります。鳥インフルエンザ H5N1 については今年の4月以降、カンボジアとエジプトで2人の患者が新たに確認されました(WHO Global Alert and Response 2013-6-4)。今年の患者数は20人(15人死亡)で、カンボジアが11人と特に多くなっています。なお、台湾で鳥インフルエンザ H6N1 に感染し、軽い肺炎をおこした女性患者が確認されました(台湾 CDC 2013-6-21)。このウイルスによる患者発生は初めてであり、他にも患

者発生がないかを現在調査中です。

#### ・新型インフルエンザ対策行動計画の発表

日本政府は6月7日に新型インフルエンザ等対策政府行動計画を発表しました。

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/keikaku.html>

この行動計画は、今年4月に施行された新型インフルエンザ等対策特別措置法の実施方法を具体的に記載したものです。また政府は6月26日に、この行動計画に基づく対策ガイドラインを発表しました。

この中には水際対策や職場対策がさらに詳しく解説されています。こうした行動計画やガイドラインは新型インフルエンザの発生時だけでなく、中東で流行中のMERSが世界流行をおこした際にも発動される可能性があり、海外の感染症対策に関与している方々は是非、ご一読ください。なお、WHOも6月10日に新型インフルエンザの発生段階(フェーズ分類)を、従来の6段階方式から4段階方式に変更しています。

[http://www.who.int/influenza/preparedness/pandemic/influenza\\_risk\\_management/en/index.html](http://www.who.int/influenza/preparedness/pandemic/influenza_risk_management/en/index.html)

#### ・東南アジアでのデング熱流行

東南アジア諸国ではデング熱患者が増加傾向にあります。6月中旬までにフィリピンでは約3万人、ベトナムとマレーシアでは約1万人の患者が確認されています(WHO Western Pacific Region 2013-6-13)。シンガポールでも患者数が1万人を突破し、これは例年の5倍の数となっています(ProMED 2013-6-17)。タイでも今年は3万人以上の患者が確認されており、バンコクで4000人、チェンマイで1800人の患者が発生した模様です(ProMED 2013-6-17)。これから東南アジアの多くの地域は雨季になりますが、さらに患者数が増える可能性があります。